

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

| | |
|----|-------|
| 組織 | 産業政策課 |
| 職 | 課長 |
| 氏名 | 石山 裕二 |

| | |
|---|--|
| 組織の使命・役割 | 何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か |
| 地域経済を取り巻くさまざまな環境変化に的確に対応し、激化するグローバル競争や地域間競争に勝ち抜くに足る地域経済の魅力と産業構造・企業体質の強化を図る。 | |



| | |
|---|--|
| 組織の目標 | 使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か |
| (定性的目標) | 何をどのような状態にしたいか |
| 現下の厳しい経済情勢を乗り越える、本県経済の将来を担う新たな成長産業を創出・育成するため、 ①地場産業の競争力強化 ②次世代産業の創造 ③産業人材の総合的育成・確保 に取り組み、「競争力のある元気な産業づくり」を推進する。 | |

| | | | | | |
|--------------------------|------------------------|-------------|---|-------------|--|
| (定量的目標) | 具体的な指標、目標値を設定する | | | | |
| 目標とする成果指標 | 現行値 | 年(度) | 目標値 | 年(度) | 目標値の設定根拠(他県との比較など) |
| ①基幹産業等の更なる競争力強化によるGDP創出 | － 億円 | H26 年度 | GDP創出 2,600億円 新規雇用創出 22,500人 ニッチトップ企 業育成数 40社 | H27 年度 | 石川県産業革新戦略2010(H22年3月) ・イノベーションと連携による競争力強化(新事業創出900件) ・感性価値創造の推進(新事業創出500件) ・農商工連携の推進(新事業創出50件) ・海外展開の拡大(新事業創出300件) ・ニッチトップ企業等の創出件数(25件) ニッチトップ企業育成支援:年4件、革新的ベンチャー育成支援:年5件 ・いしかわ型健康創造産業の創成(新事業創出125件) ・いしかわ型環境価値創造産業の創成(新事業創出125件) ・いしかわ産業人材構想(H22年3月) |
| ①基幹産業等の更なる競争力強化による新規雇用創出 | － 人 | H26 年度 | | | |
| ①ニッチトップ企業の育成数 | 36 社 | H26 年度 | | | |
| ②次世代産業の創造によるGDP創出 | － 億円 | H26 年度 | | | |
| ②次世代産業の創造による新規雇用創出 | － 人 | H26 年度 | | | |
| ③全国トップレベルの人材先進県 | － | H26 年度 | | | |



| | |
|--------------------------|---|
| 27年度に重点的に取り組むべき課題 | 左記の具体的な内容を記載する |
| ①新製品開発による新規需要の創出 | 産学の集積を活かし、国内市場が停滞し製品価格が低下しても、新製品開発や販路拡大、新分野展開、創業により、付加価値・新規需要を創出する。○新製品開発の促進 ○販路拡大の促進 ○新分野展開の促進 ○創業の促進 ○消費者ニーズの開拓 |
| ①地域の強みの活用 | ニッチトップ企業の集積や豊富な地域資源、3大都市やアジアにつながる交通インフラなどの地域の強みを伸ばし活用する。○ニッチトップ企業の増加・育成の推進 ○新製品開発の促進 ○食文化等の発信 ○交通インフラを活用した円滑な外需獲得の促進 |
| ①国際展開の拡大 | 陸、海、空の整備進展を活かし、県内の雇用確保を両立しつつ、新興国等の海外市場の成長を取り込む。○企業の裾野拡大 ○輸出拡大 ○海外現地需要の獲得 ○海外ネットワークの拡大 |
| ②次世代産業の創造 | 産学の集積や国のイノベーション拠点を活かし、新技術に迅速に対応しつつ、成長市場を獲得し、次代の一翼を担う産業を新たに創造する。○企業の裾野拡大や研究開発の促進 ○事業化の加速 ○新技術への迅速な対応 ○国事業等を活用した革新的な研究開発の促進 |
| ③産業人材の総合的育成・確保 | 本県生産年齢人口の減少に対し、人材の確保・育成を強力、かつ総合的に進める。○成長を切り拓く人材の確保・育成 ○成長基盤を強化する人材の確保・育成 ○明日の産業を担う人材の確保・育成 |